

鈴木 望友 小野中学校2年3組

10日間の研修を終え、私を感じたことは、日本とアメリカでは価値観が違うということでした。食生活や生活習慣など様々な点で違いがみられました。でも、アメリカの知人が忙しい合間をぬって会いに来てくれたことや、ホームステイ先のメイト家の優しさ、キャンプ場での会った人々の親切さという人のあたたかみは、日本の人々と同じでした。

ただ、一つ後悔したことは、自分の勉強不足で思うように会話ができなかったということです。本場の英語を聞き、積極的に話すことで、少しでも自信につながる事ができました。

最後にこのような貴重な体験をさせて下さった方々、そして両親に感謝したいです。



ホストファミリーと



ホストファミリーと

吉田 菜奈 小野中学校2年3組

私は、7月28日～8月6日までの10日間、「サマーキャンプ中学生の翼」に参加し、アメリカへ行ってきました。

今回のサマーキャンプで学んだ事は、団体行動での一人一人の責任の重さと、どんな事にも、挑戦し続けることの大切さです。言葉がうまく伝わらなくても、相手の目を見て聞くことする気持ちがあれば伝わるのだということを実感しました。

今回のような貴重な体験ができたのも町長さんや家族が与えてくれたチャンスのおかげだと思います。また、無事帰国できたのも、団長はじめ指導者の方々のおかげだと思います。今回のホームステイでは、改めて家庭のありがたさを気づかせてくれた研修でした。

石井 智貴 浮金中学校2年

アメリカでの10日間は、私にとって短く、いろいろな面で自分を成長させてくれたものでした。

ホームステイは、日本語が通じないという大きな壁がありました。中学校で習ったことを生かし、簡単な単語を使って、生活することができました。とても温かく迎えてくれたホストファミリーに感謝しています。

キャンプは、大勢の外国の人と集団行動をとることで、簡単なコミュニケーションをとる、友達をたくさん作る事ができる良い思い出がありました。

この研修を通し、アメリカの文化にふれて、とても良い経験をする事ができました。このことを将来に生かしていきたいです。



自由の女神の前で

長久保 純一 浮金中学校2年

私は、アメリカに10日間の研修に行き、日本とアメリカの交通の違いや食文化の違いに触れ、これらのことについて、色々調べることができました。人と車が、日本と逆方向に通行し、それによって、歩行者の歩く方向も逆だということを目で見て体験しました。

この研修で一番調べたかった食文化については、日本では、三食すべて満腹になるほど食べますが、アメリカでは、朝はシリアルなど軽く、昼はハンバーガーやサンドイッチといったパン類が多く、夕食は豪華なものをたくさん食べるといった食事が多く、文化の違いを感じました。

今回の研修では、日米の家庭のありがたさを実感しました。最後に、無事引率していただいた方々に感謝したいです。



ホストファミリーと